

泉南走ろう会

連絡先 泉南スポーツ社
07248・3・4653

北アルプス剣岳三九八米登山紀行

会長 遠健三

始めにお断りする。ランニングの機関紙に登山の事、書くのどうかと思われるが、月刊誌「ランナーズ」に山を走る、山岳レースの喜び等の記事があり、私は前から持つか、下りに対する足さばきのトレーニングには、登山かいいと思っております。

そこで、走ろう会に今回の登山を計画したところ、栗野原さん、井上さん、同好者として、新家駅前ブツ店を主、北川さん(女性)、そして、私計四人にて、登山を行うこととする。たまには、登山のこともあてはいいのではなにかと思いたち、記事にします。少し長いので、パート二として今回はそのパート一です。乞、御期待を。八月七日午後七時十五分、北に動いた。これは、私の家内の声である。台風は北に動き出した。その時、私は寝ころ

んで、新田次郎著、孤高の人を読んでおられたが、ツガバとはね起き、剣岳に行く事を決断する。本言言て、八月四日の走ろう会の例会日に、登山最終打合せを行う。その日に台風八号発生する。出来れば七日ならば、井上さん言う「台風一過でいいかも知れない」と思っていたが、あにはかうも台風は停滞したまま、動かない。梅雨明け二十日間、全然雨が降らなかつたのに、山に行く今日となって、台風とは、フッていないなあ、この度の登山はかの有名な雪と岩の殿堂、剣岳である。今や、乗車券も山小屋もモンセルが出来る。何度も考えたのである。五日、六日、強い雨加しきりと降る。いやな天気だ。それが北に動いたのだ。それならば、我々のアタック開始する九日は、台風一過である。行こう。

午後九時十分、私はワンカップ缶ビールを飲め、皆を待つ。栗野原さん、井上さん、井上さんの奥さんは小さなお子さんを連れの見送りである。少し遅れて北川さん、新家駅前午後九時十分乗車。大阪駅にて、男性群、ワンカップと缶ビールを仕入れる。一体何処で飲むのだろう。八月八日、高山に着く。出発してから仕入れたワンカップも缶ビールもすでに車中にて皆空であった。北アルプス登山センターの部屋に着く。そこで朝食とする。コッスルに湯を沸かし、味噌汁、コヒーを飲む。さすがにアルプスの水はおいしい。冷泉

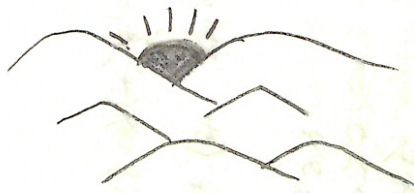
である。この水を飲めば死ぬまで生きられるとの事。死程なあ、予定通り午前九時スタートする。雪鳥沢を登る途中、雨がぱらぱら降る。雨具を着ける程のこともない。皆が傘をさす。少し苦しいが焦らさず、しかしてゆくりすすむように歩く。剣御前小屋に到着。又コヒーを飲む。さてこれから目指す剣山荘までは、あとひとふんぼりだ。ルートは三本ある。どうも行くか皆と相談。井上さんの言う真中の道を行く事とする。これは正解だ。私は二度程、剣岳を訪れている。さて行くとするか。雪渓あり、岩あり、はい松あり、実に歩きにくい。雨と汗で眼鏡がくもる。めがねを外せば、歩くのはつかいだ。それなのに、ひまひと後方に向け、北川さん、何と、真赤なスノーピークの柄の傘をさし、ゆうゆうと歩いて来る。続いて井上さん、栗野原さん、こちらには私の指木した歩行隊形である。皆が元気だ。あ、レインコートだ。ここでジャッキーを切る。剣山荘に到着。皆が小屋に入らず、そこに冷やしてある缶ビールを飲む。北川さんは、ジュースを二人の事は知らない。缶ビールをいっきに飲む。笑にうまい。部屋に入る間もなく、風呂に案内される。山小屋で風呂とは、このころの山小屋は

である。この水を飲めば死ぬまで生きられるとの事。死程なあ、予定通り午前九時スタートする。雪鳥沢を登る途中、雨がぱらぱら降る。雨具を着ける程のこともない。皆が傘をさす。少し苦しいが焦らさず、しかしてゆくりすすむように歩く。剣御前小屋に到着。又コヒーを飲む。さてこれから目指す剣山荘までは、あとひとふんぼりだ。ルートは三本ある。どうも行くか皆と相談。井上さんの言う真中の道を行く事とする。これは正解だ。私は二度程、剣岳を訪れている。さて行くとするか。雪渓あり、岩あり、はい松あり、実に歩きにくい。雨と汗で眼鏡がくもる。めがねを外せば、歩くのはつかいだ。それなのに、ひまひと後方に向け、北川さん、何と、真赤なスノーピークの柄の傘をさし、ゆうゆうと歩いて来る。続いて井上さん、栗野原さん、こちらには私の指木した歩行隊形である。皆が元気だ。あ、レインコートだ。ここでジャッキーを切る。剣山荘に到着。皆が小屋に入らず、そこに冷やしてある缶ビールを飲む。北川さんは、ジュースを二人の事は知らない。缶ビールをいっきに飲む。笑にうまい。部屋に入る間もなく、風呂に案内される。山小屋で風呂とは、このころの山小屋は

なかく完備さしている。
 朝四時同じ部屋の二組のパーティはもう
 すむい出発していろ。コーヒーを飲み粟
 野原さん持参のパンを食べ、用意とし
 満天の星が輝く山道を一歩一歩踏み
 しめる。
 間もなく夜明けだ。早くも一服剣に到着
 そこで御米光を待つ。一分、夜太陽は
 静かに昇る。

この稿終。次は鎖場です。御期待。

登山隊長 (巻へえの)
 遠健三



ニースと御知らせ

イ、ニース

九月八日才六回 神鍋高原マラソン全
 国大会に石橋さん、井上さん、そして中学
 校の先生と私、計四名参加する。民宿
 一泊のため、車中、宿の中、談論風発し
 口はフルマラソンであった。私はいやになら
 ずとも皆、好まぬにて完走する。

御知らせ

例会日

一日時 九月十五日 (日) 新家公民館

午前九時

コース ウルトラコース 新家公民館

青少年の森、お菊山入口、佳後
 ノンストップゲーム

（昔ぞあるが、コースにつて
 は、皆と相談し、無理のないコ
 ースを走りましょう）